

トンガ王国の空港人材の育成を支援 ～国際協力機構(JICA)の中小企業・SDGs ビジネス支援事業の案件に採択されました～

このたび、株式会社成田空港ビジネス（NAAB*）が提案する「トンガ王国『特定技能』人材の活用に向けた教育スキーム構築のための案件化調査」が、国際協力機構(JICA)が実施している「中小企業・SDGs ビジネス支援事業 案件化調査(SDGs 型)」において採択されました。*成田国際空港株式会社の100%連結子会社

トンガ王国は、人口約10万人の南太平洋の島国であり、大洋州の中では若年層の人口割合が比較的高く、日本語教育を実施している高校が7校存在することから、日本語学習の意欲が高い若者が一定数存在することを見込んでいます。

採択された調査は、NAABが同国において、若年層向けの日本語教育と技能教育のスキーム構築に向け、現地における日本での就労ニーズ、教育環境の調査を行い、「特定技能」在留資格の活用を前提としたビジネスモデルの策定を目指すものであり、調査に必要な現地活動費、管理費等についてJICAの支援を得るものです。

NAABは、成田空港関連企業等に向けて、人材派遣事業・有料職業紹介事業等を行っており、これまでもフィジー共和国からの人材を採用するなど、当社と共に成田空港の更なる機能強化による将来的な人材需要の増加を見据え、外国人材の活用を進めているところです。

本調査後に事業化された場合には、就労機会の十分でない同国に就労の機会を提供し、また、日本におけるこれからの労働力不足への対応を図るものであり、さらには、将来的にはその人材が同国の観光業界等において活躍することにより、同国の経済成長への貢献が期待されています。



トンガの高校での授業風景